

## 農業委員会と行政の連携で、担い手に農地集積！

木津川市では、中核的担い手として大いに期待を寄せる角山大輔氏に、農業委員会と市農政課とが連携、農業会議現地推進役が支援し、農地の集積を農地中間管理事業で進めている。農地は平場の好条件地であり、1筆ながらもマッチングに向けて好感触を得ている。

ことの発端は農地利用状況調査に始まる。保全管理となっていた農地所有者に意向を確認。中間管理事業を活用する意志が確認できたことから、借受希望者の情報と照らし合わせ、角山さんをマッチング候補に据えて速やかに農業委員会と市の農政課が動き出した。角山さんは市内市坂・上狛でナスを中心に営農しており、今回の農地は自宅からの距離も問題なく、分散地の許容範囲のようだ。



農地全体を参加者で一見



詳細確認に熱が入る  
角山さんと田中委員

現地案内当日は、農業委員会事務局から連絡を受けた地区担当の田中農業委員が地域の状況や農地の現況等を詳細に説明し、角山さんの質問に一つ一つ丁寧に対応していた。農業委員会事務局からは事務局長が、農政課からは担当係長と中間管理事業の担当職員がマッチングをリードし、現地推進役も当日のサポート役を担った。

角山さんも、規模拡大の一環として借り受けに前向きな発言があり、所有者の貸付に伴う要望の詳細を確認して最終的な結論を出すことになった。

農業委員会の積極的な農地利用最適化の動きは、地域や担い手にとって最大の支援となり、行政担当課が加わり連携を図ることで、相乗効果が期待できる。そのコーディネーターとして、現地推進役の果たす役割も益々大きくなるであろう。今後の木津川市の動きは、農業委員会と行政連携の新たなモデルの構築に期待を持たせ、注目していきたい。

農地あれこれ  
こぼれ話

### ■スマート農業で地域再生と活性化に挑む！

今、ある企業が地元へ恩返しの思いを込め、地元の再生活活性化を目指したビッグプロジェクトを着々と進めています。代々受け継がれながらも、保全管理となっていた農地を今一度活用してハウスでのスマート農業を活用しようとの試みです。事業の成功がもたらす狙いとして、リタイヤ組のセカンドステージの確立と、地元雇用創出に熱き思いを漲らせています。営農開始は来年になる予定ですが、すでに着々とスタートに向けた準備を計画通りに進めています。地元企業の参入モデルとしても初志貫徹で臨むと、満面の笑みで代表者は語っていました。

事業が本格的にスタートし、皆様に全容をお知らせできる日を心待ちにしています。

農地を所有し活用していない法人の皆様、スマート農業のお話へ耳を傾けては如何でしょうか！

## ◎新しい機構集積協力金(農地整備・集約協力金)の概要

「農地整備・集約協力金」は、今年度から新設されました。この協力金は農地耕作条件改善事業に取り組むすべての農地を担い手に集積・集約することにより農業者の負担なく、基盤整備が実施されることを目的としたものです。

### ○農地耕作条件改善事業ってなに？

農地耕作条件改善事業とは、農地中間管理事業の重点実施区域等で、耕作条件の改善(区画整理・暗渠排水等の条件改善)を実施し、担い手への農地集積を推進するとともに、高収益作物への転換、営農定着に必要な取組を支援するものです。

### ○農地耕作条件改善事業に取り組み、

次の要件を満たすと最大で事業費の12.5%の農地整備・集約協力金が交付されます。

### 農地整備・集約協力金の交付要件

**要件①**京カ・農場プランの実質化がされていること。

**要件②**対象農地が基盤整備済み地区に内在または隣接し、地域内で合計10ha(中山間地域は5ha)未満であること。

**要件③**対象農地のすべてが目標年度(事業完了後3年)までに担い手に集積され、農地中間管理権が15年以上設定されていること。

など。

## ◆イベントガイド◆

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
令和元年 8月13日(火)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局
令和元年 8月8日(木)	山城地域就農相談	京都府田辺総合庁舎	山城北農業改良普及センター (TEL:0774-62-8686) 山城南農業改良普及センター (TEL:0774-72-0237)
	◆事前に予約が必要です(相談日の7日前までにご予約下さい) ◆ある程度の就農準備ができています方を相談対象として想定しています。 ◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので御了承ください。		

※京都府農地中間管理機構では、「FarmBankNews」を(一社)京都府農業会議のHPに掲載しています。

(一社)京都府農業会議(農地中間管理機構)のホームページからメールアドレスの登録ができます。どなたでもご登録いただけますので、農地中間管理事業に興味のある方、また活用をお考えの方はお気軽にご登録ください。

ホームページ URL はこちら <https://www.agr-k.or.jp/~kyoto-j/farmlbank/>